# TT(ティームティーチング)特別配置事業

学 務 課

#### 1. 目的

小規模校が抱える問題や教育活動の活性化を図るため、小学校又は中学校にティームティーチング講師を派遣し、きめ細かな授業を実施する。

### 2. 内容

算数・数学等の教科指導において、教師2人体制で授業を行う(T・T,ティームティーチング)ことで、児童生徒一人一人への指導助言や個別に対応できる機会を増やしてきめ細かな指導にあたる。

特に教員の定数以外に配置(加配)がない学校や教員数が減になった学校の状況等を踏まえて TT講師を配置している

#### 3. 実施状況

小学校7校に派遣(佐城小・宍戸小・箱田小・東小・大原小・南小・岩間三小) 市雇用 4名、県雇用 3名 合計7名

講師一人当たり 平成21年度は、年間1、050時間

- ・指導体制としては、基本的には各校とも2人体制による授業の実施(学習内容によっては学級を2つに分けて小人数指導も実施)をしている。2人体制(T・T,ティーム・ティーチング)による指導によって、一人一人への指導助言の機会が増え、きめ細かな個別指導にあたることができている。
- ・2人体制(T・T, ティーム・ティーチング)による授業では、児童生徒からすると、「教師へ質問しやすい」、「個別に指導を受ける機会が増える」などのメリットがある。また、教師が2人体制で指導にあたることで児童生徒にとっても安心して学習に取り組むことができる。
- ・現在,各校とも学力向上に取り組んでいる中で,配置校では児童生徒の学習指導上(学力向上)からTT講師の役割・貢献度はきわめて大きなものがある。

#### 4. 内部評価

算数や数学の授業において、二人体制で授業を行うことで、一人一人への助言やアドバイスを する機会を設けることでわかる授業を実施する上では、現行どおり継続実施することが重要と考 える。

## 5. 外部評価委員会の意見

必要性	有効性	効率性	総合評価
■ 非常に高い	■ 非常に高い	■ 非常に高い	■ 現行どおり継続
□ある程度認められる	□ ある程度認められる	□ ある程度認められる	□ 改善し,継続
□ どちらとも言えない	□ どちらとも言えない	□ どちらとも言えない	□ 休止又は縮小
□あまり高くない	□ あまり高くない	□ あまり高くない	□民間に移管
□ 非常に低い	□ 非常に低い	□ 非常に低い	□ 廃止
			□ 事業完了
○一般には効率性は高い。有効・必要と見られているようだが、問題も多いのではないかと考えている。「担任」との関係については、説明を聞いて安心した。			
○小規模校が現存する実情からは、抱えている課題と教育活動の活性化を図るため、現行どおり継続することが必要と認められる。			
○子どもたちにとって「わかる授業」のためのひとつの手段として必要なことだと思います。二人 の先生の綿密な話し合いの下に授業が行われることを望みます。			

## 6. 外部評価に対する改善等の取り組み

2人体制で授業展開をしていくため、担任との事前打合せを実施し、連携を大切にして、今後 も児童生徒一人一人が理解し得るきめ細かな授業展開ができるよう現行どおり継続実施してま いります。